

ネイティブヒトトポイソメラーゼⅠ

Cat. No. NATE-0707

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 トポイソメラーゼⅠは、超螺旋状のDNA分子を緩めます。この酵素は、閉じた環状DNAの超螺旋ターンにおいて、一時的な切断とリン酸ジエステル結合の再結合を開始します。酵素の活性は、右巻きおよび左巻きの超螺旋に依存しません。

用途 トポイソメラーゼⅠは、HIV-1複製の調節に関する影響を評価する研究に使用されました。トポイソメラーゼⅠは、腸上皮細胞のアノキシスの媒介者である腫瘍抑制タンパク質キナーゼ Chk2を調節する研究にも使用されました。

別名 トポイソメラーゼⅠ; EC 5.99.1.2; タイプⅠ DNA トポイソメラーゼ; アンツイスト酵素; リラクシング酵素; ニッキング-クローズ酵素; スイベルエース; ω -タンパク質; デオキシリボ核酸トポイソメラーゼ; トポイソメラーゼ; タイプⅠ DNA トポイソメラーゼ; DNA トポイソメラーゼ; TOPOⅠ

製品情報

由来 人間

形態 緩衝水性グリセロール溶液; 20 mM ナトリウムリン酸、pH 7.4、300 mM NaCl、50 μ g/mL BSA、50% グリセロール、および 25-100 mM イミダゾールを含む溶液（濃度はロットに依存します）。

EC番号 EC 5.99.1.2

CAS登録番号 80449-01-0

分子量 mol wt 100 kDa

活性 > 2 ユニット/ μ L

代謝経路 アポトーシスにおけるカスパーゼカスケード、特定の生物におけるパイオシステム

機能 ATP結合; DNA結合; DNAトポイソメラーゼ（ATP加水分解）活性; DNAトポイソメラーゼタイプⅠ活性; クロマチンDNA結合; クロマチン結合; スクレオチド結合; タンパク質結合

単位定義 1ユニットは、37°CでpH 7.9の条件下で30分間に0.25 μ gのスーパコイルプラスミドDNAをリラックスさせます。

保管・発送情報

保存方法 -70°C